

愛媛県循環器病対策推進計画策定の経緯と指針について

これまでの循環器病対策と基本計画策定の背景

➤ 循環器病は「国民の生命や健康」「社会全体」に影響を与える疾患

- ・脳卒中や心血管疾患などの循環器病は、疾患による死因においてがんに次ぐ第2位である。
- ・介護が必要となった主な原因としても全体の約4分の1を占めている。
- ・循環器系の疾患の医科診療費も全体の約2割を占めている。

➤ 循環器病は生活習慣の改善や適切な治療によって予防・進行抑制が可能

- ・運動不足、不適切な食生活、喫煙等の生活習慣や肥満等の健康状態に端を発し、生活習慣病（高血圧症、糖尿病等）を介して発症するものが多い。

➡ 主に予防の観点からの対策を実施

- ・1977（S52）年に国立循環器病センター設置（国の循環器病の中心機関）
- ・1978（S53）年から国民健康づくり運動が開始され、現在も健康日本21として継続
- ・2003（H15）年から健康増進法施行
- ・2017（H29）年に「循環器病に係る診療提供体制の在り方検討会」報告書

1

●2018（H30）年12月 議員立法として

「**健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する法律（基本法）**」が成立・公布、2019（R元）年12月1日施行

●2020（R2）年10月27日

「**循環器病対策推進基本計画（基本計画）**」が閣議決定



基本計画に基づき、**都道府県で「循環器病対策推進計画」を策定**し、循環器病に対する施策を推進

「都道府県循環器病対策推進計画」策定にあたっては、

- ・関係者等の意見の把握 ⇒ 議論する体制の整備（協議会等）
- ・循環器病対策の課題の抽出
- ・課題解決に向けた施策の立案及び目標の設定 ⇒ ロジックモデルなどのツールを活用
- ・医療計画、健康増進計画等の他の計画との調和を図る

2

愛媛県の現状について

- 死亡原因：循環器病は、第1位
- 循環器系の疾患の医科診療費は、全体の17.8%
- 死亡率
 - ・脳血管疾患は、全国第18位
 - ・心疾患は、全国第2位
- 心疾患の年齢調整死亡率は、心不全が高い
- 男性の収縮期血圧の平均値は、全国第8位
- 高血圧症は、地域偏在がみられる

3

県計画骨子（案）の作成について

- 地域医療計画評価ネットワーク（RH-PLANET）のロジックモデルを活用

（※）普及啓発、情報提供・相談支援等の項目は無い



● 指標の整理

- ・収集できない指標
- ・他の県計画の指標
- ・県オリジナルの指標

➡ 県ロジックモデル（案）を作成

- 第1次県計画の期間：令和4年度～令和5年度（2年間）

（※）国基本計画及び他の県計画の期間と調整

4

今後のスケジュールについて

- R3.8.25 第1回協議会開催（骨子案提示）**
- R3.11月 第2回協議会開催（推進計画素案提示）**
- R3.11月～12月 素案の修正、パブリックコメント**
- R4.2月 第3回協議会開催（推進計画最終案提示）**
- R4.3月 推進計画の決定・公示**

